

船舶事故等調査報告書

平成21年5月28日

運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2009仙第18号	
事故等名	貨物船ほくと安全阻害	
発生年月日時刻	平成20年12月28日18時30分ごろ(発見)	
発生場所	飛島南灯台から真方位292° 62.7海里 (北緯39° 35.3'、東経138° 19.0')	
事故等調査の経過	調査の概要:平成21年2月9日仙台・地方事故調査官が海難報告書を入力 原因関係者からの意見聴取:意見なし	
事実情報		
船種・船名・総トン数	貨物船 ほくと 8,608トン	
船舶番号	135410	
船舶所有者等	宮崎産業海運株式会社	
乗組員等に関する情報	船長 三級海技士(航海)	
負傷者	なし	
損傷	積荷車輛の荷崩れ及び損傷	
事故等の経過	<p>本船は、車輛115台を積み、船首6.2m、船尾6.8mの喫水で、北海道苫小牧港へ向け航行中、荒天に遭遇し、平成20年12月28日18時30分ごろ、大きな横揺れと波浪の衝撃を受けたので、艙内を点検したところ、積荷車輛の一部が荷崩れを起こし損傷しているのを発見した。直ちに積荷車輛の固縛の増し取り等を行った。</p> <p>当時、発達した低気圧が進行中で、天候は雪で、風力9の西北西風が吹き、うねりは7であった。</p> <p>その後航海を続け、翌29日13時00分苫小牧港に入港した。</p>	
分析	気象・海象の関与 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は航行中、発達した低気圧の影響による荒天に遭遇し、船体が動揺した可能性があると考えられる。
原因	本インシデントは、本船が航行中、発達した低気圧の影響による荒天に遭遇し、船体が動揺したため、積荷の荷崩れと損傷が生じたことにより発生した可能性があると考えられる。	
その他の事項	なし	